

## 1. 内外政

- ・29日、ゲルマン外務・欧州統合相は、訪問中のビルト・スウェーデン外相と会談。ビルト・スウェーデン外相は、2014～2020年の間、スウェーデンのモルドバに対する毎年の支援額を1,400万ユーロまで拡充する旨発表。
- ・1日、ティモフティ大統領は、ソフィアを訪問し、プレヴネリエフ・ブルガリア大統領と会談。
- ・1日、ヴォローニン共産党党首は、議会選挙で同党が勝利した場合、ロシアの率いる関税同盟への加盟を進める旨発言。
- ・1日、ニコレスク・ルーマニア・エネルギー担当相は、ヤシ＝ウンゲニ間天然ガス・パイプラインを通じたルーマニアからモルドバへのガス輸送は8月後半に開始されるだろう旨発言。
- ・2日、議会は、27日に署名をしたEUとの連合協定を賛成多数(101中59)で批准。同日、ルーマニア議会は、EU加盟国内で最初に連合協定を批准。
- ・2日、シェフチューク「沿ドニエストル共和国大統領」は、モスクワを訪問し、同「共和国」とロシア間の経済、産業、交通、農業、反独占活動、教育、科学及び文化分野における協力に関する7つのメモランダムに調印。

- ・2日、ロゴジン露副首相は、EU・モルドバ間の連合協定は、沿ドニエストルの住民の権利を侵害している旨発言。
- ・3日、ティモフティ大統領は、レアンカ首相の提案に基づき、ラザル副首相兼経済相を解任しカンドゥ議会副議長(民主党)を後任に命ずる大統領令に署名。
- ・4日、テレビ・ラジオ問題調整会議は、モルドバ国内におけるロシア国営テレビ「ロシア24」の放送を6か月停止する決定を発表。
- ・4日、レアンカ首相は、ドイツ議会にて3日に採択された、欧州各国が自由に統合モデルを選択する権利を支持する決議を賞賛。

## 2. 経済

- ・3日、坂田大使は、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件4件(「モルドバにおける児童向け移動図書館整備計画」、「ストラセニ地区病院における医療機材改善計画」、「オルヘイ心身障害児療育センターにおける心身障害児用機材整備計画」および「オルヘイ市立幼稚園教育環境改善計画」)の引渡式に出席。各案件の供与額は、順に約9万4,000米ドル、約8万6,000米ドル、約11万米ドル、約11万2,000米ドル。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。(了)